

SSKO 40 Anniversary Since 1983 おあしす通信

編集 キープハート(おあしすの事業を支える市民の会)

2024年度 第1号



新装開店！リサイクルショップ オアシス (4ページをご覧ください)



社会福祉法人
おあしす福祉会

〒136-0076 東京都江東区南砂3-4-6
TEL 03-5690-5959
<http://www.oasisfukushi.or.jp/>



就労継続支援B型／就労定着支援事業所

■オアシス・プラス 〒135-0021 東京都江東区白河4-7-2 TEL 03-5646-7811

就労継続支援B型事業所

■コム・オアシス 〒136-0076 東京都江東区南砂3-4-6 TEL 03-5690-5959

■ピアワーク・オアシス 〒135-0001 東京都江東区毛利1-7-3 田中ビル TEL 03-5638-1775

地域活動支援センター／指定（特定・一般）相談支援事業所／自立生活援助

■ウィル・オアシス 〒135-0002 東京都江東区住吉1-17-20 住吉ビル4階 TEL 03-6284-0545

共同生活援助事業（グループホーム）

■第2クローバーハウス

おあしす利用者家族の会「杏の会」

公益事業

■住宅確保要配慮者居住支援法人（居住支援法人）

〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-20 東陽町ダイヤモンドパレス2階204 TEL 070-6435-5374

おあしす福祉会 令和5年度報告 および令和6年度計画

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、世の中の活動が元通りに戻るべく、これまで止まってきたことが動き出した1年でした。それをふまえ、おあしす福祉会でも感染防御対策は継続しながらも、これまでできなかったことを再開し始め、アフターコロナの新時代を切り拓いていくことを事業計画に掲げ、様々な取り組みを実施しました。特に施設の外、地域の中にも利用者が活躍できる機会を拡充するために様々な団体、企業・商店等とつながり協同を進めてまいりました（その詳細についてはこれまで本紙にてお伝えしてきた通りです）。

また当法人は昨年で創立40周年を迎え、これまでの実績や経験を振り返る1年でもありました。40年前に比べ、精神障害のある人たちが利用できるサービスや施設は地域にたくさんできました。制度も年々充実してきました。また精神障害に関する治療や薬も進歩し、早期発見・早期治療が進み、長く入院することや重篤化する方も40年前に比べるとかなり減ってきた印象を受けます。江東区で、精神障害のある方が利用できる施設として、初めての共同作業所を設立した当法人は、これまで地域の精神保健福祉に関するパイオニアとしての役割を担うべく努力してきましたが、地域の現状を見ると一定の成果をあげることができたのではないかと思います。

「就労移行支援事業」については、制度開始当初から当法人で実施してきましたが、江東区及び近隣区に同事業所がかなり多く設置されるようになったことから、ピアワーク・オアシスで実施していた就労移行支援事業は令和5年度末をもって事業終了いたしました。それに伴い同事業所で実施していた「就労定着支援事業」は令和6年度からオアシス・プラスが引き継ぐこととなりました。創立当初から就労支援の実績を持つおあしすですので、今後も就労支援については3箇所の就労継続支援B型事業所において引き続き実施し、一般就労を希望する方への支援も切れ目なく行なってまいります。



就労継続支援B型 ピアワーク・オアシス

オアシス・プラスで受託していた「JAXA調布食堂運営」については、原材料費の高騰と客数減少の影響により、残念ながら令和5年度末で受託終了となりました。ここで働く経験をした利用者は自信や就労意欲が高まり、一般就労した方が1名、他の方も一般就労に向けて意欲的になられています。

令和6年度は障害福祉サービスの報酬改定により、全ての事業においてその報酬単価や加算額が見直されました。当法人の運営するサービスのうち、大きな変更があったのはオアシス・プラス、ピアワーク・オアシス、コム・オアシスの就労継続支援B型事業です。



就労継続支援B型 就労定着支援 オアシス・プラス

これまで前年度の月額平均工賃額によって報酬単価のランクが決められていましたが、今回からこの月額平均工賃額の計算方法が変わったことで、3事業所ともその額が高くなり、より報酬単価の高いランクとなりました。特にオアシス・プラスはJAXA調布食堂受託事業や宅配弁当の新規顧客増加等により工賃額が大幅に向上（最高額は8万円強）したため最高ランクの報酬単価となりました。さら

には一般就労を実現した方が多かったことから、加算（就労移行支援体制加算）も増えることになりました。その結果、令和6年度の当法人の収支は数年ぶりに赤字から脱却できる見込みです。しかしながら報酬単価が上がると、利用料負担がある方については報酬の1割分である利用料も上がることになり、ご利用しづらくなるという弊害もあるため、より一層利用したいと思っただけの魅力的な施設運営に邁進して参ります。

就労支援だけでなく生活支援、居住支援もさらに充実させていきます。指定相談支援事業については、江東区の障害者特定相談支援事業所就業・定着促進事業補助金を活用し、相談支援専門員を増員し、相談支援の充実を図ります。

共同生活援助事業（グループホーム）においては、1996年の事業開始時より、当事者・家族、医療、福祉等と連携し、障害当事者が地域のなかでその人らしく生活していけるよう事業を実施してきました。とくに昨年度からはグループホームから地域での単身生活に移行する際に、当法人の居住支援法人とも連携し退居支援や住居の確保に努めています。

令和6年度の報酬改訂により、グループホームに対しては地域の関係者を含む外部の目を入れた「地域連携推進会議」を開催すること及び会議の構成員が事業所を見学する機会を設けることが義務付けられました（令和6年度は努力義務、令和7年度以降は義務）。生活や居住の場であるため利用者のプライバシーに十分配慮しつつ、事業運営における透明性の確保とさらなる支援の質の向上が求められています。第2クローバーハウスでは、これを好機と捉え、地域関係者と連携体制を築きながら、利用者がその人らしく安心して暮らすことができるよう取り組んでいきたいと考えています。



就労継続支援B型 コム・オアシス

また居住支援法人における支援対象も障害者だけでなく高齢者にも対象を広げ、江東区内で住まいを必要とする方のサポートを拡充していきます。

さらには生活保護を受給する方の金銭管理について、なんらかの支援が可能となるよう江東区議会に陳情書を昨年提出しました。今年度は本陳情が継続審議されるよう区議会に求めています。他に精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築、家賃が高騰する江東区で障害があっても暮らし続けられる街づくりについて等も行政や区議会に要望を挙げていく所存です。

創立41年目となる令和6年度、地域も社会も大きく変わってきましたが、「精神障害があっても、地域の中でかけがえのない存在として尊重され、自己実現を目指すことができる地域を作る」ことを理念の一つとしている当法人としては、まだまだ制度やサービスは十分ではないと考えており、引き続き地域の精神保健福祉の拡充に真骨を注ぐ所存でございます。戦争や自然災害、円安や物価高騰など不確実性、社会不安が益々高まっているこの時代だからこそ、精神障害があっても、自分の街で自分らしく暮らし、夢や希望を求め続けられる地域を作っていくことは誰にとっても生きやすい地域につながるはずです。当法人をご利用いただいている方々はもちろん、この江東区にお住まいの方々にとっても貢献できる社会福祉法人となるべく、令和6年度も誠実に運営して参ります。読者の皆様におかれましては、引き続き、おあしす福祉会へのご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

おあしす福祉会への
寄付についてはこちら➡



社会福祉法人おあしす福祉会

理事長 平松 謙一

生まれ変わったリサイクルショップ オアシス ～念願のリニューアルオープン～

リサイクルショップ オアシスはお借りしていた建物の老朽化に伴い、2023年5月より北砂4丁目の仮店舗で営業していました。そしていよいよ2024年4月1日に北砂3丁目に戻り、リニューアルオープンすることができました。建て替え後のお店は見違えるほどきれいになりました！

■ 1週間で力をあわせて開店準備！ 待ってくれたお客様との再会

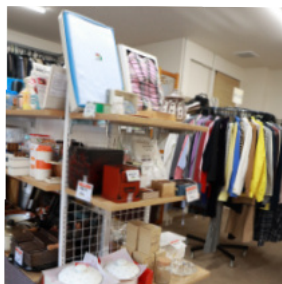
3月半ば北砂3丁目に戻ることになり、4月のオープンに向けて急いで開店準備を進めました。何も並んでいない棚を商品でいっぱいにするために、普段はお店で働いていない利用者も力を貸してくれました。お店に到着した途端、「わあきれい！」という声が次々に上がり、利用者から感動と期待が溢れました。店内のレイアウトを考えながら、30個分のコンテナに入った商品を一齐に棚に並べ、作業の合間を縫ってチラシもたくさん配りました。なんとか迎えられたオープン日には、歴代最高売上を更新できました！たくさんのお客様にお越しいただき、「綺麗になったわね」「提供品も貯めてずっと待ってたよ」と声もかけていただきました。リサイクルショップ オアシスは再スタートを切ったばかりです。これからも地域に愛されるお店であり続けられるように利用者と様々な工夫を考えていきたいと思っております。皆様のご来店を心よりお待ちしております。（山岡 望）



▲リニューアルしたお店

※準備を頑張った利用者の声※

- ・お店とっても綺麗です。一番びっくりしたのは自動シャッターになっていたこと。あとは、チラシ渡したとき「3回目よ！」と受け取りを断られてしまったけど、負けずに「お待ちしてますから」って声をかけることができた！
- ・オープン準備の時、お手洗いが新品でビニールが被せてあってびっくりした。北砂4丁目のお店よりも広くなったからいっぱい商品が置けると思う。
- ・新しいお店になって棚の高さを工夫したから、目線が変わって棚の奥にある商品も見やすくなった。あとは、開店準備の時にお店を覗いてた人がいたから、追いかけて行ってチラシを渡したら「どんなお店ができるかたのしみにしていたんだ。また来ますね」と言ってもらえた。追っかけた甲斐がありました！
- ・レジ台が前より広くなって使いやすくなった。お客さんのお会計の対応もスムーズにできる。店内が前より明るいからお客さんも商品を見やすいと思う。広くなったから掃除するのが大変に感じます。



◀店内の様子▲▼



▲開店前の様子



リサイクル品募集中！

詳細は同封のチラシをご覧ください。

～東京23FC選手との交流を通して～

東京23FCは関東サッカーリーグ1部に所属するサッカークラブです。「高い人間力を備えたプロフットボーラーを育成し、サッカーが持つあらゆる可能性にチャレンジし東京23区という地域に貢献する」という理念を持って活動しています。



コム・オアシスと東京23FCとのつながりは、昨年に遡ります。試合告知のチラシを配布先の小中学校別に仕分ける仕事を頂いたことから始まります。利用者は、決められた納期に間に合わせるために一生懸命取り組みました。そんな時に、練習の合間を縫って東京23FCの選手やスタッフが手伝いに来てくれたことから交流が始まりました。

後日、東京23FCの事務局から試合にご招待していただいた時には「仕事を手伝ってもらったから、今度は私たちが応援する番だ！」と自作の横断幕を持ってみんなで応援にいきました。あまりサッカーのルールがわからない、サッカー観戦をしたことがない利用者にとって生での試合観戦はとても良い体験となりました。



藤選手・澤選手・清家選手・木村選手

東京23FC新加入選手との交流！

3月末、今年度新しく入団した澤選手、藤選手、清家選手、木村選手とスタッフの計6名がコム・オアシスを訪問、利用者との交流をしました。この日は、5名の利用者と一緒におせんべいを計量・包装、ラベルを貼る仕事を手伝っていただきました。



エプロン姿の選手たち

食品を扱うため、エプロン・衛生帽子・手袋を身につけた選手は、ピッチの上での勇ましい姿とは違って変わって親しみやすい姿になっていました。利用者は「こうしたほうがいいよ」「真ん中にね」など積極的に声をかけ、選手たちと利用者の笑い声が溢れる中、楽しく作業をすることができました。

お互いを知るきっかけとして今回このような形で東京23FCの皆さんと交流ができたことは、誰もが尊重し合い支え合うことができる共生社会の実現にむけた一歩になったと思います。

私たちの応援がチームの勝利につながる！

6月29日、江戸川区のスピアーズえどりくフィールドにて東京23FC対東邦チタニウムの試合が開催。利用者とともに応援に行ってきました。その試合には、一緒に仕事をした澤選手と藤選手が出演しており、皆で一生懸命応援をしました。試合は、3-1で東京23FCの勝利！観戦した利用者は「勝ってよかった！シュートを止めたキーパーがカッコよかった！」「勝つことを願いながら応援しました！」と興奮した様子で話してくれました。試合後には、選手とハイタッチをして共に勝利の喜びを分かち合うことができ、人とのつながりを大事にするチームだと感じました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。わたしたちは「人が財産」と掲げている東京23FCをこれからも応援していきます。

(高橋 邦浩)

子どもたちの支えとなるおもちゃをつくりたい ～子どもたちに木のおもちゃを贈る活動～

『寄付金』と『おもちゃ』をお届けしました

『こどもたち応援ロボット』で集まった寄付金とリクエストしていただいたおもちゃをお届けに、2024年3月25日に公益財団法人がんの子どもを守る会（以下がんの子どもを守る会）の本部事務局がある浅草橋へ利用者と職員で訪問してきました。2度目の訪問となりますが、迎えてくださるスタッフさんのやさしい笑顔と、手づくりの装飾にあたたかい雰囲気を感じます。受付では以前プレゼントした『応援ロボット』を発見。贈ったおもちゃの活躍に嬉しい気持ちになりました。

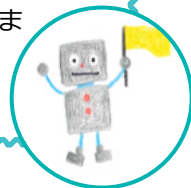
寄付金とおもちゃを届けるだけでなく、プレゼントを受けとったお子さんとご家族の声や様子を伺う機会とさせていただきます。また、これまでの活動に対する感謝状をいただけてきました。

こどもたち応援ロボット

「いろんなかたちで子どもたちを応援したい」という利用者の声から生まれたロボットです。ご購入いただくと1つにつき500円が『公益財団法人がんの子どもを守る会』へ寄付されます。

寄付金として集まった87,000円

（174個分）をお届けしました。ご協力いただき、ありがとうございました。



わたしたちも励まされたおはなし



いただいた感謝状

「苦手なお薬が飲めた」

お薬を飲むのが苦手なお子さんは多くいらっしゃいますが、治療のためにいくつものお薬を飲まなくてはいけないお子さんがいます。あるお子さんは、いただいたワンちゃんのおもちゃをそばに置いたら、がんばってお薬を飲み込めたんです。きっと励まされたんじゃないでしょうか。喜んでワンちゃんをお部屋に連れて帰る姿に、ご家族もスタッフもホッとしたのを覚えています。

「おもちゃがやさしい雰囲気をつくってくれている」

ご自宅を離れて、ペアレンツハウス（宿泊施設）と病院を往来する子どもたちやご家族にとって、ここはご自宅のような落ち着く場所にしたいと考えています。みなさんがつくってくれた木のおもちゃは、手づくりの温かみがあって、やさしい雰囲気をつくってくれています。とてもありがたい存在です。

おもちゃが子どもたちの支えになったら嬉しい

がんの治療を頑張っている子どもたちとそのごきょうだいへおもちゃを贈ることになり、もっと子どもたちのことを理解したいと思うようになりました。そこで、おおにしわかさんの『ビーズのおともだち』という本を読みました。入院中は検査や治療と、大人のわたしでも向き合うのが辛くなるようなことがたくさん。想像して胸が痛みました。がんばったごほうびにもらえるのは、いろんな色やかたちのビーズ。入院生活でビーズは心の支えになっているように思いました。

今回がんの子どもを守る会を訪問し、わたしたちがつくったおもちゃが子どもたちやご家族に喜んでいただけたというお話を伺い、胸が熱くなりました。わたしたちにできることはちいさなことかもしれませんが、治療をがんばっている子どもたちやそのごきょうだいの支えとなるようなおもちゃづくりができれば、これ以上嬉しいことはないです。（ピアワーク・オアシス Aさん）

がんの子どもを守る会を訪問し、改めて病気とたたかうお子さんがたくさん試練と向き合っていること、ご家族の苦難や苦勞に、まだまだ想像が及んでいないことを痛感しました。一方でプレゼントしたおもちゃがお子さんを励ます存在になったのは、わたしたちにとっても大きな励みとなりました。「辛い治療やさみしさに耐え、頑張っている子どもたちの力になりたい」帰り道にそう話す利用者の言葉に深く共感しました。わたしたちにできることはなにか、これからも利用者と一緒に考えて行動に移していきたいと思えます。（瀧下 春菜）

※「子どもたちに木のおもちゃを贈る活動」を応援して下さる方を募集しています。詳しくは同封のチラシをご覧ください

おあしすは障がいがある方の「やりたいこと」を応援します まずはお問い合わせと見学から！新規利用者募集中

お互いが **あんしんして** **しあわせ**を手に行ける **すてきな町**に

就職したい、ひとり暮らしをしたい、家庭を持ちたい、誰かの役に立ちたい・・・
障がいがあってもなくても、みんなが抱いていいはずの思いです。

そんな思いを「自分の住む町で実現したい」と考えている方をおあしす福祉会
は応援します。ぜひ一度お問い合わせください。

はたらきたいと思っている方へ 就労継続支援B型



オアシス・プラス

未経験者大歓迎！お弁当づくりを
通じてお客様に喜びと健康を届け
ます

03-5646-7811（友田・池田）
江東区白河4-7-2
お弁当の製造・販売



ピアワーク・オアシス

あなたの「はたらきたい」を
あなたのペースで

03-5638-1775（丸橋・武藤）
江東区毛利1-7-3 田中ビル
木のおもちゃの製造・販売、清
掃業務請負、各種軽作業



コム・オアシス

お店を通じて地域との交流を大
切にしています

03-5690-5959（藤田・加賀）
江東区南砂3-4-6
「リサイクルショップ オアシ
ス」の運営、各種軽作業

ひとり暮らしに向けて グループホーム



第2クローバーハウス

空室あり。バス停からすぐ。コンビニも近く、通
勤・通院にも便利なグループホーム(男性用)です
03-3699-1142（喜多村・須藤）

ゆっくりすごせる場所・各種相談 地域活動支援センター・指定相談支援事業



ウィル・オアシス

03-6284-0545（鈴木・磯田）
江東区住吉1-17-20 住吉ビル4階
日中の居場所提供、地域交流、生活相談

くわしくは各事業所までお電話でお問い合わせください

能登半島地震 支援金募集

令和6年1月1日、石川県能登地方で発生した地震により各地で甚大な被害が発生しました。被災された皆さまならびにそのご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

石川県、新潟県、富山県、福井県の4県を中心とした地域で家屋倒壊など多くの被害が発生したことにより、長期的な支援が必要となっています。おあしす福祉会では被災した方々を支えるため、引き続き支援金を募集します。

お預かりした支援金につきましては、被災した石川県内の障がい当事者の支援をおこなっているきょうされんの「きょうされん自然災害支援基金」に寄付いたします。今後の支援金の使用については、法人ウェブサイトおよび本紙「おあしす通信」にて随時報告させていただきます。

皆さまの温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人おあしす福祉会

ご寄付の手続き

○銀行振込による申込み

銀行名：ゆうちょ銀行
金融機関コード：9900 店番：019
預金種目：当座
店名：〇一九店（ゼロイチキュウ店）
口座番号：0082367

○郵便振替による申込み

加入者名 おあしす福祉会
口座記号 00100 8 番号 82367

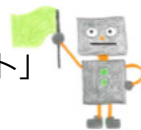
銀行振込、郵便振替とも通信欄に「能登半島 寄付」と明記のうえ、お申込みください。

能登半島 応援ロボット も販売中！



○能登半島地震で被災した方々を応援するために「能登半島応援ロボット」を販売しています。

売上1個につき500円を寄付とします。
店頭販売価格1,000円（税込）
オンライン販売価格1,500円（税込）
右のQRコードをご利用ください。



ご報告

おあしす福祉会ではウクライナ危機および能登半島地震について皆さまより多くの支援金をお預かりしました。お預かりした支援金につきましては下記の団体に寄付し、それぞれの支援活動に役立てていただきます。

ご協力ありがとうございました。

ウクライナ危機に関する支援金 金額：10,518円
能登半島地震に関する支援金 金額：127,276円

寄付先：AAR Japan [難民を助ける会]
寄付先：きょうされん自然災害基金